

大学院 GP「高度な言語運用能力に基づく地域研究者養成」2009年度プロジェクト
東京外国語大学大学院総合国際学研究所 地域研究自立研究方法論
国際共同セミナー（公開）

主題： **植民地と近代性の問題——植民地性の連続と断絶**

日時： **2010年1月9日（土曜日）午前10時30分～**

場所： **東京外国語大学海外事情研究所（研究講義棟427）**

問い合わせ： 中野敏男研究室 Email: tnakano@tufs.ac.jp

〔企画趣旨〕

東京外国語大学と韓国の国立ソウル大学が共同して企画し、両大学の大学院生を中心に共同して実施する国際共同セミナーの試みである。その主題は、東アジアにおける植民地主義の歴史とその現在を、「植民地と近代性の問題」という研究視角に添って問うことにある。植民地主義の支配が実際にどのような形で人々の生活に影響を与えたか、そしてそれが植民地支配の終わった「植民地後」にどのように連続しているかについて、個別に課題をもって研究を深めている研究者・大学院生がそれぞれのテーマに沿って研究の成果を報告し、その成果を日韓の両サイドから光を当てて検討する。その共同セミナーによって相互に研究の実質を交流させるとともに、このセミナーを組織する活動そのものにおいて大学院生には自立的な研究実践を学び深める機会とする。

第一部 10：30～12：30

東京外国語大学自立研究方法論の研究成果発表と問題提起

第二部 13：30～15：00

ソウル大学大学院社会学からの研究成果発表と質疑

康誠賢（KANG, Sunghyun ソウル大学歴史学研究所研究員）

テーマ： 1930～50年代の思想統制及び動員の連続と断絶

金學載（KIM, Hakjae ソウル大学歴史学研究所非常勤研究員）

テーマ： 韓国「例外状態国家」の植民地的起源と暴力性

15：15～16：45

姜仁化（KANG, Inhwa ソウル大学大学院社会学博士課程）（欠席）

テーマ： 韓国兵役拒否論争を通して見た兵役義務の政治学

金寶美（KIM, Bomi ソウル大学大学院社会学碩士課程）

テーマ： 犠牲と補償の象徴政治学——軍事援護事業と国家動員体制

第三部 17：00～18：30

全体討論

* 終了後に懇親会をします。 19：00～ （会場： 海外事情研究所会議室）